

個人情報を守られるのか!?!..... 窓口業務を外部へ委託 県内で初めて実施!

本年4月から郵便局へ そして 民間業者が役所の窓口へ入ります

《9月議会一般質問》

1. 高齢者福祉について
2. ゴミ問題について
3. 地域おこしについて

《12月議会一般質問》

1. 上天草～八代航路について
2. 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

維和、阿村、樋島、大道出張所廃止を前提とした“戸籍謄本・除籍謄本、納税証明書、住民票の写し、戸籍の附票の写し、印鑑登録証明書の発行など郵便局への窓口業務の一部委託”が今年4月から始まります。新年度の一年間は郵便局への委託のみで、住民サービスの向上と説明されましたが、その先にある出張所を廃止する経費削減が主な目的です。

高齢者や障がい者にとって近くの出張所は、単なる書類の交付だけでなく相談窓口としての重要な役割もあります。決して市民へのサービス向上とはならないのではないのでしょうか。

また、同時に大矢野・松島庁舎及び姫戸・龍ヶ岳支所の窓口業務が民間業者へ委託されます。現在37名の窓口担当者を17名に減らします。「最大の目的は、①現在の職員を重要な部署に配置できる ②スペシャリストを期待できる」という答弁でした。すでに委託業者も決まり、研修費として348万円の補正予算が組まれました。

行政のスリム化が急ピッチですすんでいきますが、果たしてこれでいいのでしょうか？ 行政の仕事は、特に個人情報など守ることを義務付けられていることが数多くあります。個人情報を守られるのか？という心配もあります。さらに、本当にサービス向上となるのか？“スペシャリストを期待できる”との答弁ですが、職員ではスペシャリストになりえないのか？ 今の段階での外部への委託には反対です。

小地域ネットワークについて

(問)現在の取り組み状況は？

(答) 社会福祉協議会への委託だが、平成24年8月31日現在で98行政区で69のネットワークが組織されている。また、近いうちに17行政区で立ち上げが予定されている。

(問)平成24年度670万9,000円の予算が組まれているが詳細は？

(答) 主なものは人件費、ほかにパソコン等のリース料、郵便、電話、用紙等の事務用品代が含まれる。

(問)小地域ネットワークの活動予算はなく、地域のみなさんのボランティアに支えられています。今後もボランティアを頼りにしていけるのか？

(答) 地区の皆様方、地区社協の方に協力いただくという形になる。

長野県栄村では『下駄履きヘルパー制度』(下駄履きで行ける範囲を介護する制度)があり、主婦のみなさんがヘルパーの資格を取り登録している。女性の収入源ともなり、介護保険財政は黒字で、保険料も2,400円と低い。

ヘルパー資格取得への助成も含めてぜひ研究して取り入れて欲しい。国民健康保険、介護保険制度の安定化のためにも予防運動に力を入れる。そのためにヘルパー制度の充実をさせ、明るい未来が見える高齢化社会となるよう努力していただきたい。



議員定数や制度改革など特別委員会の中でも引き下げを訴えてまいりました。賛同いただいた議員もおられました。賛成少数で未だに引き下げには至っていません。この問題については引き続き頑張ります。

さて、昨年末に政権交代となり、再び自民党政権となりましたが、消費税増税問題、年金引き下げなど庶民の暮らしにとって不安は増すばかりです。合併後9年目となった上天草市は、合併特例期間の70年が過ぎれば地方交付税は今後5年間でどんどん減らされていきます。高齢化もすすみ税収もなかなか増えません。若者が残れる上天草市にするために今後も頑張ります。

『一人の70歩より100人の一歩』です。みんなで住みよい上天草市づくりをしていきましょう。私もその先頭に立ち頑張ります。

新しい年が希望の持てる年となりますように！

上天草市議会議員 宮下 しょう子



宮下しょう子の

ひまわり新聞

2013年1月～第60号～

日本共産党上天草市委員会
(2号橋近く)
上天草市大矢野町中 4435-9
Tel 0964-57-0408
Fax 0964-57-0410

宮下しょう子自宅
上天草市姫戸町姫浦 2381
Tel・Fax 0969-58-2901
携帯 090-5283-3100

《無料相談所解説中!》

暮らし・法律など何でもご相談ください!

安心して子どもを産み 育てられる環境づくりを！

「子ども医療費の拡充」と『市独自の不妊治療費助成制度』を提案！

少子化に歯止めがかからず、熊本県の出生率は平成21年から若干増えているものの1.62%となっています。少子化のひとつの原因として、晩婚、晩産、非婚があると言われていますが、未婚者の9割が結婚することを望んでいて、未婚者、既婚者を問わず、希望する子どもの数は平均2人以上という調査結果もあります。

現在の社会は、家庭と子どもを持ちたいという希望が実現する社会になっていないのではないか。非正規雇用が当たり前の世の中では、結婚をためらい子どもを産み育てることに不安があるのは当然です。まずは、国の政治が良くなければなりません。今、少子化対策をとっている市町村も増えています。子どものにぎやかな声は地域を元気にします。ぜひ、少子化対策にもう一歩足を踏み出していきたい。

(問) 上天草市の出生数は？

(答) 平成19年207名、平成20年229名、平成21年204名、平成22年210名、平成23年178名となっている。(参考：今年の成人者は410人)

(問) 市長の考える少子化対策とはどんなことか。

(答) 子どもを育てる環境整備と経済力の担保の2つの切り口で少子化対策に取り組むべきと考えている。

(問) 『子ども医療費』については、県内自治体で高校3年生までが2町、中学3年生までが18町3村、小学校6年生までが4市7町3村で無料化が実施され上天草市は遅れている。せめて小学6年生まで拡充すべきではないか。

(答) 近隣自治体の状況も参考にしながら慎重に判断していきたい。

(問) 不妊治療費助成については、現在県が実施している制度があるが、独自の制度をつくる自治体も増えている。高額な治療費がかかるため、治療したくてもできない人もおられる。ぜひ取り組んで欲しい。

(答) 市独自の助成についてはまだ検討を行っておりません。全体的なところの中での考え方で今後はすすめていきたい。



なかなか減らない焼却ゴミ……

悲鳴をあげる焼却場

(問) 焼却ゴミは減るところか増えているが原因は何だと考えるか？

(答) 市民、事業所、行政が一体となって取り組むべき問題だが、まだまだ推進するべき必要がある。

(問) 生ゴミ処理機補助の限度額が2万円から3万円に引き上げられているが実績は？

(答) これまでの総数で171件を超えている。普及率では1.4%程度である。

(問) 高額な生ゴミ処理機よりもお金のかからないダンボールを使って生ゴミを堆肥化する『ダンボールコンポスト』の普及、さらにゴミ処理機を小中学校に設置し教育の一環としての活用も考えてはどうか？

(答) 補助対象も従来の電動式に限定せずコンポスト等も含めて推進していきたい。小中学校への設置についても同等の考え方で推進を行ってほしい。

(問) 資源ゴミの回収は地区のみなさんのボランティアで成り立っている。すでに一度提案している資源ゴミの売り上げを地区へ還元する『リサイクル推進事業助成金』については検討しているのか？

(答) リサイクル費の還元については、検討してできるようであればそのような対策を講じる必要もあるのではという認識は持っている。

(問) 松島地区清掃センターは建設から17年たち(一般的な耐用年数は15年)毎年相当な修繕費がかかっている。また、燃焼効率が悪くなり8月の広域連合議会では燃料費1100万円の補正予算が組まれた。新処理場建設が予定されているが、稼働まで8~9年かかる。悲鳴をあげている処理場の現状をどう考えるか？

(答) 本来の能力の70~80%しかない状況である。何らかの措置を講じる必要があると考えている。管理している広域連合と連携をとりながら検討させていただきたいと考えている。

議会でのやりとりから市長や担当課の『ゴミ』に対する認識がまだまだ甘いのではと感じました。本気で焼却ゴミを減らしたいという意欲は感じられません。

我々市民一人ひとりも『ゴミ』に対する認識を改めて考えなければなりません。自ら率先してゴミを減らす努力をしましょう！

★カンタンで費用もかからない『ダンボールコンポスト』で生ゴミを堆肥化しませんか！ ※詳しくは環境衛生課までお尋ねください

※準備するもの

- ・ダンボール箱 (みかん箱など)
- ・シャベルかホベラ(かきは用)
- ・もみ殻ともみ殻くん炭
- ・かまぼこ板かラップの芯など(底を浮かせるもの)
- ・米ぬか

1. ダンボールの上ふたを立てて四隅をテープで止める。(底と周りを2重にすると強くなる)
2. もみ殻ともみ殻くん炭を混ぜ合わせ箱の半分ぐらいまで入れる。
3. ダンボール箱の下には、かまぼこ板などを置いて通気性をよくする。
4. 生ゴミは水を切らずに入れてよく混ぜる。(最初は米ぬかをひとつかみ入れると分解が早くなる)

5. ハエなど虫が隙間から入らないよう蓋をする(ダンボールや布など)
6. 生ゴミを入れるたび箱の中をかき混ぜる。(1~2週間で温度が30°Cぐらいに上昇)
7. 3ヶ月ぐらい続けたあと生ゴミの投入をやめ、時々ざっくり混ぜ合わせます。1~2週間後土と混ぜ、さらに1~2ヶ月程度置くと堆肥として使えます。

〈ポイント〉

- ・ 容器は20°C以上のところに置く(10°C以下では分解されにくい。冬場はお湯を入れたペットボトルの中に入れるなど工夫する)
- ・ 生ゴミを投入しなくても1日1回は全体をよく混ぜる。